

## &lt;コラム&gt;

## 「キャリア・カウンセラーの仕事」

東京都立晴海総合高等学校教諭  
キャリア・カウンセラー 大池 公紀

平成10年4月から本校に赴任しました。現在は、授業を持たず担任をせずに、1週間に8時間のスクール・カウンセラーとは違い月曜日から土曜日までフルタイムの専任のキャリア・カウンセラーとして勤務しています。「適応」「学習」「生活」「進路」の4つの指導の統合である「ガイダンス活動」と「相談活動」との関係を意識しながら仕事をしています。現在のキャリア・カウンセラーの仕事には三本の大きな柱があります。それは、「生徒を支える活動」「教師を支える活動」「保護者・地域を支える活動」です。

## 1. 生徒を支える活動

相談したいことがあれば即対応できるシステム、悩みを抱えて煩悶している生徒にいつでも「どうしたの?」と声をかけられる相談活動を重視したシステムが本校にはあります。その結果、毎年ガイダンスセンターには延べ5000人以上の生徒が来室し、延べ2000人以上の生徒の相談に対応します。上級学校・就職などの進路先や受験勉強の方法などの具体的進路相談もあります。1・2年次生では、系列・科目選択に関わる相談をはじめとして、自分の適性や能力に不安を抱えてやってくる生徒にも対応します。生徒の様々な不安・疑問を取り除いて充実した学校生活を送ることができるように支援することがキャリア・カウンセラーの職務の一つです。「答える」ことよりも「応える」ことを重視して実践を積み重ねています。この他に、養護教諭や専門機関との連携を図りながら不登校・不適応傾向を示す生徒への治療的相談活動もします。

## 2. 教師を支える活動

まず、教師の抱える問題の相談を受け、専門家としてヒントや例示、時には指導・助言を与え、よりよい教育活動の支援をするコンサルテーションがあります。例えば、「このような生徒がいるんだけど、どのように接したら良いのか分からないので、教えてくれない?」とやってきた担任にどのように対応していったら良いかを応えていきます。

次に、コーディネーションです。職業観の向上を図る講演会や校内研修会等の企画立案をして講師選びと交渉・実施までを統括します。

そして、デヴェロップメント。ガイダンスに関わるプログラムを開発し展開することです。学校としての統一的ビジョンに立って、LHR等の進路学習の教材を作り、各学年に提示して全クラスで実施します。

## 3. 保護者・地域を支える活動

保護者との相談活動、保護者会等における進路意識の啓発、地域との連携の橋渡しなどがあげられます。担任と連携を取りながら家庭の抱える不安や疑問の解消や支援をします。